

## 東京国体の開催準備

第68回国民体育大会(国体)が、平成25年に東京都で開催の予定である。都においては54年ぶり3回目となる。東京国体は、全都的なスポーツ振興や多摩・島しょ地域の活性化、またオリンピック招致機運の盛り上げにつながる事が期待されており、その概要及び準備状況などについてまとめる。

### 1 国民体育大会(国体)の概要について

#### (1) 目的

国民体育大会は、スポーツ振興法に基づき、「広く国民の間にスポーツを普及し、アマチュアリズムとスポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与する」ことを目的に、各都道府県を代表する選手によって繰り広げられる国内最大のスポーツの祭典である。

#### (2) 歴史

戦後、スポーツを通じて国民に、とりわけ青少年に勇気と希望を与えようと、昭和21年に京都を中心とした京阪神地域で第1回大会が開催され、都道府県対抗及び全国持ち回り方式が導入された。

昭和36年には法令(スポーツ振興法)に唯一明記された大会となり、さらに発展を続け、冬季・夏季・秋季を合わせると、年間の選手及び役員の参加者数が3万人を超える国内最大の総合スポーツ大会となった。

【今後の開催予定】

国体は、国内のスポーツ振興、各都道府県のスポーツ施設の整備及び競技団体等スポーツ組織・体制の充実、各種指導者の育成と組織化の促進、郷土意識の高揚による地域の活性化、開催地のPRや経済効果を上げるなど、多くの貢献を果たしている。

年	回	本大会
平成19年(2007)	第62回	秋田
平成20年(2008)	第63回	大分
平成21年(2009)	第64回	新潟
平成22年(2010)	第65回	千葉
平成23年(2011)	第66回	山口
平成24年(2012)	第67回	岐阜
平成25年(2013)	第68回	東京

東京都においては、これまでに第4回大会(昭和24年)、第14回大会(昭和34年)が開催されている。

#### (3) 国体改革の取組

国体が始まってから半世紀以上が経過し、世の中や経済状況の変化等による様々な課題が顕在化してきている。そのため、平成15年3月には(財)日本体育協会及び国民体育大会委員会より「新しい国民体育大会を求めて～国体改革2003～」が発表され、国体改革に向けた、今後の在り方・方向性及び取組が示されている。

##### 大会の充実・活性化

21世紀の新しい国体を、より競技性の高い国内トップレベルの大会として構築し、ジュニアからトップアスリートを含む幅広い競技者層を対象に、競技者の発掘・育成の場として充実・活性化の促進を図る。

・女子種目の拡充 ・種目の年齢区分の見直し(ジュニア競技者の育成) 等

## 大会運営の簡素・効率化

開催都道府県及び参加都道府県における財政負担を考慮した大会運営の簡素・効率化の推進を図る。

- ・夏季・秋季大会の一本化（平成18年兵庫国体より）
- ・企業協賛制度の導入
- ・近隣県の競技施設の活用 等



## COLUMN

### 経費削減、国体備品などの再利用 兵庫リハ大会

神戸市で十八日まで開かれていたのじぎく兵庫国体リハーサル大会の「全日本フェンシング選手権」。会場内に「おかやま国体」の文字が入ったごみ箱が並んだ。神戸市教委国体室が今秋の岡山国体開催市町から譲り受けた備品類で、ほかに旗パネルや表彰台などを再利用。本番の兵庫国体でも使う予定という。隣県のリレー開催となった岡山、兵庫両県は、国体簡素化の流れの中、一度しか使わないような競技用具を共同購入。・・・テニスの場合、備前市から譲り受けたプラカードなどを、神戸を経て秋田市に引き継ぐことで、すでに担当者レベルで約束を交わしている。（平成17.12.26 神戸新聞より）



## 2 平成25年東京国体の概要

### (1) これまでの経緯

- ・平成 元年 1 1月 市長会、町村会が国体招致を知事及び教育委員会に要望
- ・平成 13年 1月 (財)東京都体育協会(以下、「都体協」)が理事会で第68回国体の招致を決議
- ・平成 13年 2月 都体協が都議会議長及び教育委員会に対し、第68回国体招致要望書を提出
- ・平成 13年 3月 区長会が国体招致を知事及び都議会に要望、都議会第一回定例会で国体招致を決議
- ・平成 13年 4月 都教育委員会で国体招致を決議
- ・平成 13年 12月 都、都教育委員会、都体協の三者連名で文部科学省及び(財)日本体育協会(以下、「日体協」)に開催要望書を提出
- ・平成 14年 1月 日体協が第68回国民体育大会の開催申請書提出順序を東京都で了承(内々定)
- ・平成 15年 7月 東京が目指す新しい国体の在り方について、各分野から意見を聴取するため、有識者による「東京国体懇話会」を設置
- ・平成 17年 6月 東京国体開催準備を円滑に推進するため、都、区市町村、都体協代表者で構成する「東京国体準備推進会議」を設置
- ・平成 18年 12月 「東京都議会東京多摩国体推進議員連盟」設立

(2) 会 期

平成25年9月中旬から10月中旬の間で11日間以内

(3) 主催者

【大会主催者】東京都、文部科学省、(財)日本体育協会

【各競技主催者】会場地区市町村、競技団体、東京都、文部科学省、(財)日本体育協会

(4) 基本的な考え方

多摩・島しょ地区中心に開催、全都的なスポーツ振興

- ・多摩・島しょ地区で過半数の競技を実施
  - ・ジュニア・地域スポーツクラブ・ボランティアなどの全都的育成
- 国体を通じたオリンピック招致機運の全国的な盛り上げ



- ・毎年国体で東京オリンピック招致をPR
- ・国体と全国障害者スポーツ大会との一本化

地域の活性化と東京からの多様な先進性の発信

- ・多摩・島しょ地区でのビーチバレー、マウンテンバイク、サーフィンなど地域の特性を生かしたデモンストレーション競技の開催
- ・ロボット国体の開催、大会デザインコンテストの実施



東京の資産を活用した効率的・効果的な運営

- ・既存施設、民間施設等を活用し、特設施設はオリンピックと共用
- ・ワンダーサイト、ロボカップ、環境フェスティバル等とのコラボレーション

(5) 役割分担

【都】・全都的な計画及び実施 ・開会式及び閉会式の実施 ・都施設の整備 等

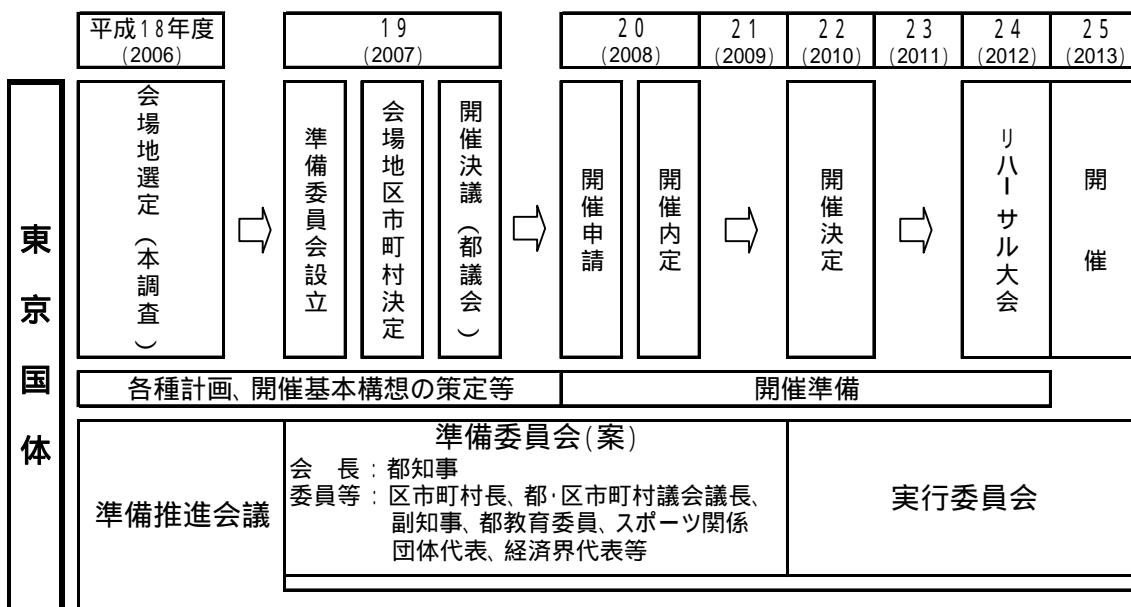
【開催地区市町村】・各競技大会の計画及び実施 ・区市町村施設の整備 等

(6) 区市町村補助の考え方

【運営費】 補助率1/2

【施設整備費】 補助率1/2 (1施設につき上限原則1億円 特例3億円)

(7) 開催までのスケジュール



(8) 今後の都議会の動き

平成20年度に東京都、都教育委員会及び(財)東京都体育協会の連名により、文部科学大臣及び(財)日本体育協会会長あてに国体開催申請書を提出するにあたっては、都民の意思を確認し、また国体開催への機運を高めるため19年度中に都議会において開催決議を行う必要がある。(申請書に添付)

(9) 実施競技及び会場地(平成19年1月25日現在)

現在、会場地を選定中で平成19年度中に全ての会場地が正式決定する。

第1次選定状況

【選定競技数】22競技(38競技のうち)

【選定会場地数】39会場(87予定競技会場のうち)

《内訳》区 部...9会場(8区)

多摩地域...30会場(20市)



東京スタジアム  
(開・閉会式会場)

競技名	会場地	競技名	会場地
1 陸上競技	調布	20 馬術	調整中
2 水泳	調整中	21 フェンシング	台東
3 サッカー	文京、北、八王子、調布、清瀬、多摩、他調整中	22 柔道	足立
4 テニス	調整中	23 ソフトボール	三鷹、福生、あきる野、他調整中
5 ボート	江戸川	24 バドミントン	町田
6 ホッケー	調整中	25 弓道	調整中
7 ボクシング	日野	26 ライフル射撃	調整中
8 バレーボール	立川、小平、羽村、他調整中	27 剣道	足立
9 体操	八王子	28 ラグビーフットボール	調整中
10 バスケットボール	武蔵野、小金井、西東京、他調整中	29 山岳	東久留米
11 レスリング	調整中	30 カヌー	青梅、他調整中
12 セーリング	調整中	31 アーチェリー	調整中
13 ウェイトリフティング	調整中	32 空手道	調整中
14 ハンドボール	墨田、他調整中	33 銃剣道	練馬
15 自転車	立川、他調整中	34 クレー射撃	調整中
16 ソフトテニス	調整中	35 なぎなた	港
17 卓球	府中	36 ボウリング	調整中
18 軟式野球	八王子、立川、昭島、稲城、他調整中	37 ゴルフ	八王子
19 相撲	調整中	38 高等学校野球	八王子、他調整中

注1) 網掛けはオリンピック開催競技 注2) 印は公開競技 注3) 他にデモンストレーション競技あり

(10) 平成19年度重点事業など東京都の取組

- ・関係団体や区市町村等との連携の下、「東京都競技力向上推進本部(仮称)」を設置し、技術力向上事業を体系的に推進
- ・「ジュニア育成地域推進事業」の実施規模の大幅な拡充
- ・旧秋川高校跡地を利用した、トップアスリート養成のための中高一貫教育校の創設に向けた検討
- ・学校体育や部活動との連携による競技力向上の推進
- ・平成19年4月1日より教育庁の国体準備室を総務局に移管し、国体推進部を設置